

令和5年5月8日
国土交通省関東地方整備局
日光砂防事務所

工事発注手続きについて

～R5 日光砂防気象観測装置改修工事の発注手続きを行います～

日光砂防事務所発注の「R5 日光砂防気象観測装置改修工事」において、不調・不落対策等を試行、採用します。

工事発注において、予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札の取りやめや不調が予測される工事について、不調・不落対策等を試行、採用しております。

今回発注するR5 日光砂防気象観測装置改修工事については、以下のとおり不調・不落対策等を試行、採用します。

【不調・不落対策等】

1. 見積活用方式
2. 施工箇所が点在する工事の積算
3. 余裕期間制度（フレックス方式）
4. 配置予定技術者の専任を要しない期間
5. 機器単体費の提示
6. 世界的な半導体不足による工期延期等

※詳細は次項をご覧ください。

<発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 栃木県政記者クラブ 日光記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 日光砂防事務所

電話：0288-54-1191（代表） メールアドレス：ktr-nikko@mlit.go.jp

副所長 工藤 卓也（くどう たくや）

工務課長 田中 理恵（たなか りえ）

《工事概要》

- (1) 工 事 名：R 5 日光砂防管内気象観測装置改修工事
- (2) 工事場所：栃木県日光市日光地先外 1 箇所
- (3) 全体工期：契約締結の翌日から令和 6 年 2 月 2 2 日まで
〈余裕期間制度（フレックス方式）〉
- (4) 入札方式：一般競争入札方式
総合評価落札方式「施工能力評価型Ⅱ型」
- (5) 工事種別：通信設備工事
- (6) 工事内容（概要）：

気象観測装置（機器）	1 式
中継設備（機器）	1 式
気象観測装置撤去工	1 式
気象観測装置設置工	1 式
中継装置設置工	1 式

■気象観測装置（黒岩気象観測局）



■位置図



《不調・不落対策等》

1. 見積活用方式

○見積の提出を求める工程

直接工事費のうち、以下に係わるもの

- ・気象観測装置設置工（設置用架台のアンカー設置）
（黒岩気象観測所）
- ・気象観測装置撤去工（設置用架台のアンカー撤去（不使用））
（黒岩気象観測所）

○見積の提出を求める理由

本工事は、標高 1 8 0 0 m を超える山岳地帯の急峻な箇所で気象観測設備の据付・調整等の施工を行うため、作業効率の低下に伴い、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想されます。

そのため、入札参加者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証のうえ、予定価格に反映させる「見積活用方式」を試行します。

2. 施工箇所が点在する工事の積算

施工箇所が点在する工事の積算について、建設機械を複数箇所に運搬する費用等がそれぞれの箇所で発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、共通仮設費、現場管理費を箇所毎に算出する「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。

本工事の地区は、黒岩地区（黒岩気象観測所）、日光地区（日光砂防堰堤展望台）とし、詳細は下図のとおりです。



3. 余裕期間制度（フレックス方式）

受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労務者確保等の準備ができる余裕期間を設定する工事であり、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

4. 配置予定技術者の専任を要しない期間

本工事は、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、競争参加資格確認申請書の配置予定主任（監理）技術者の専任を要しないものです。

5. 機器単体費の提示

気象観測設備（総合気象計、監視カメラ、及び無線LAN等）に係わる機器単体費を歩掛見積参考資料に提示することを試行します。

6. 世界的な半導体不足による工期延期等

本工事は、半導体不足の影響で機器等の納期遅延により、工期内に工事が完成出来ない等、工期の延長が必要な場合には、工事の一時中止等の適切な措置を行い工期延期を実施します。

7. 競争参加資格の緩和

企業に求める施工実績を関東地方整備局管内と限定せず、緩和しています。

《スケジュール》

入札公告、入札説明書交付	： 令和 5 年	4 月 2 8 日（金）
競争参加確認申請書、見積書提出期限	： 令和 5 年	5 月 1 9 日（金）
入札書・工事費内訳書提出期限	： 令和 5 年	6 月 1 6 日（金）
開 札	： 令和 5 年	6 月 2 1 日（水）

概略工事工程表
工事名：R5日光砂防管内気象観測装置改修工事

工 種		単位	数量	令和5年												令和6年			備 考
				6月		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
準備・調査		式	1															30日間	
機器製作（気象観測設備）		式	1															120日間	
気象観測設備撤去工		式	1															(1pt)	
気象観測設備設置工		式	1															(1pt)	
運搬工		式	1															ヘリコプタ運搬	
後片付け		式	1															20日間	
制約条件	夏季休暇																	3日間	
	年末年始																	12月下旬～1月上旬	

《余裕期間制度（フレックス）の活用について》

本工事は、受注者の円滑な工事施行体制の確保を図るため、事前に建築資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、発注者があらかじめ設定した全体工期（余裕期間と工期を合わせた期間）の中で、受注者は工事の始期と終期を任意に設定することができます。
なお、工事の始期までの余裕期間は、監理技術者等の配置が不要となります。